



産業廃棄物処理計画書

令和5年6月14日

茨城県知事 殿

提出者

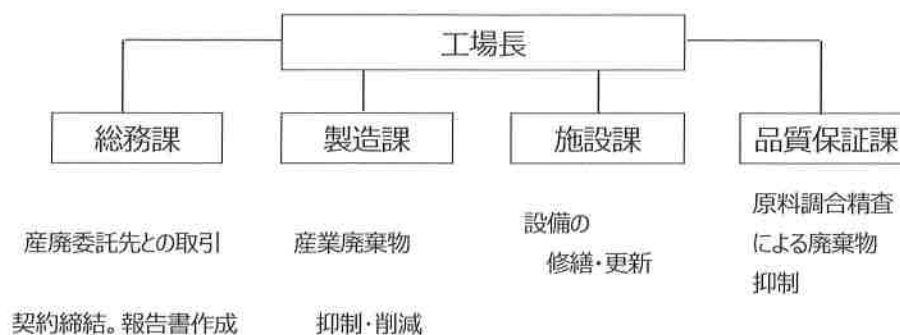
住 所 茨城県神栖市東和田25番地
氏 名 旭トステム外装株式会社鹿島工場
工場長 丹伊田 克幸
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0299-96-7089

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	旭トステム外装株式会社鹿島工場
事業場の所在地	茨城県神栖市東和田25番地
計画期間	2023年4月～2024年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業（窯業製品製造業）
②事業の規模	製造品生産高 5,772 百万円
③従業員数	54 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（これまでに実施した取組） 別紙②参照		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 別紙②参照		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 別紙③参照 A G C(株)鹿島工場と同構内にあるため、A G C(株)鹿島の分別基準に則っている
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記に従う





自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	該当なし		t
			t
		(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った		
②計画	該当なし		t
			t
	産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
		(今後実施する予定の取組)	





自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は		
②計画	該 当 な し		t
			t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2022 年度）実績】別紙④参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		



② 計画	【目標】 別紙④参照		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が 1,000 トン以上の事業場ごとに 1 枚作成すること。
- 2 当該年度の 6 月 30 日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第 6 条の 11 第 2 号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 15 条の 3 の 3 第 1 項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が 3 以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の一連の処理工程図

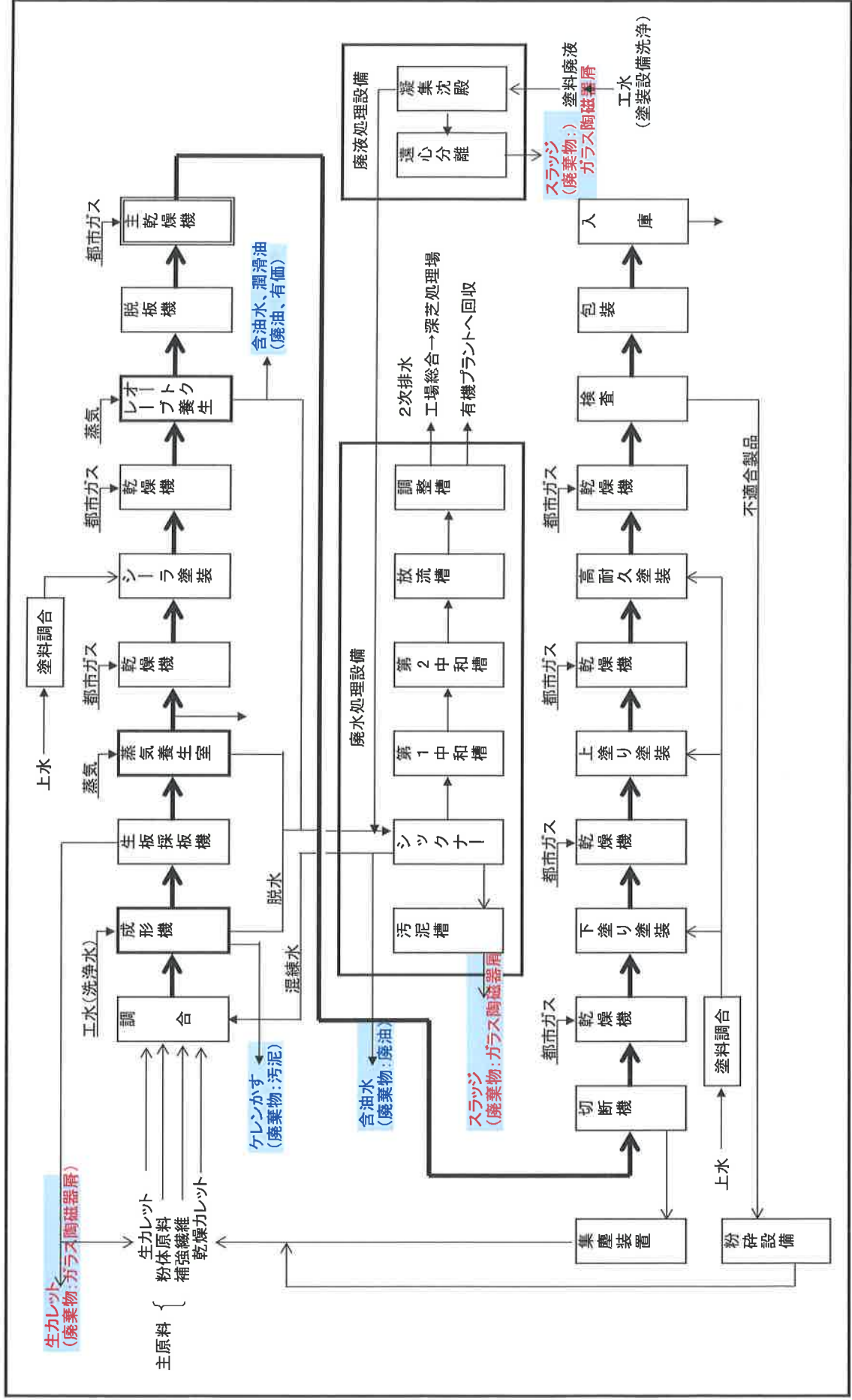
廃棄物の排出箇所

※成形機での製法の違い HSM1成形機:脱水プレス成形法、HSM2成形:連続単層成形法

→ 原材料の流れ

→ ユーティティの流れ

別紙①



AGC鹿島工場 場内廃棄物分別基準

AGC 鹿嶋

- (1) 分別方法
- (2) 袋詰め方法
- (3) フロン含有品
- (4) 家電4品目
- (5) アスベスト
- (6) 空容器の廃棄

下記の特約ルールを遵守して下さい。分からない場合は、各課のEMS担当にまずはお問い合わせ下さい。

スポットクーラーや冷水機等フロンを使用している機器は別処理になります。都度、業務G(5243)に問い合わせ下さい。

別シート「家電4品目」のルールに従って下さい。

排出時は、資材倉庫(5252)に連絡下さい。家電4品目(エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機の業務用以外)も別処理になります。

排出時は、資材倉庫(5253)に連絡下さい。

アスベスト含有証明が付かない外壁・スレート類、パッキン類は、含有とみなします。

米沢市・石田市・ガラス瓶等の空き容器の廃棄は、必ず、使い切ったの空ではなく、洗浄して空にしてから行下さい。(回収者や中間処分業者は空として取り扱うため。 残物による油液・薬液等を絶対に起こさないため)

	分類	排出荷役 専用機	品名	注 意
1 可燃物		専用機 指定ポリ袋	生活ごみ、食品ごみ、雑草 生活ごみ 食品ごみ 雑草	など。塩ビは腐食。 タノの吸い殻(袋を2-3重にする)、ボールペン 菓子・冷凍食品の袋、レトルトパック類 1袋5kg以内。
2 廃プラ		専用機 指定ポリ袋	30cm幅以内で、塩ビ・HDPE系を含まないもの。 ×食品ごみ 工場常用保護具 キングアール ピニールシート 発泡スチロール・ウレタン プラスチック容器(食品以外) プラスチックサザー ロープ	コンベヤ当バック等は材質はプラでも可燃物。 安全靴(金属無)、ヘルメット、作業服(含・防寒着、雨合羽類)、軍手 ファイルの中身及び金属は外す。外せない場合、業務Gに相談。 小さく畳む。 薬品等は水洗いをしフタは開ける。 30cm以下に切断し、袋に入れる。 ほどけないように結束する。
3 リサイクル廃プラ		専用エンテナ	P・P・Eプロコン(塩ビ以外)	中身(内袋・内容物)を取り、1袋づつ小さくめて4つ折りにする。
4 PPバンド		専用機 ポリ袋入り	PPバンド	指定ポリ袋に入れる。
5 ストレッチフィルム		専用機	ストレッチフィルム	指定ポリ袋に入れる。
6 塩ビ・大型廃プラ		専用エンテナ 最大巾目安 (8m3コンテナ に入ること)	* 印字が汚れているもの、ストリッパ以外のゴミの混入禁止(金具は取り出す) 塩ビ製製品 ジャバラ管 ホース類 タイヤ イス	* 印刷が汚れているもの、ストリッパ以外のゴミの混入禁止、原料粉が付着しているものは廃棄禁止(廃プラへ) 中にワイヤーの入ったものを含む。 プラスチック・ビニール製のもの。 ホイールは取り除く。 オフサイズのみ、折り畳みパイプは鉄屑。 金属と廃プラの複合物で分解できない場合
7 保温材・断熱材		専用エンテナ	ケイ酸カルシウム(ケイカル)、パーライト (ケイカル)、パーライト グラスウール ロックウール シリカ系保温材	(注意!腐食) 危険物付着の疑いがある場合は、可燃性ガス検知器でチェックの上、問題ないことを確認して廃棄して下さい。 付着がある場合は、各付着物に適切に分別、処分をお願いします。
8 ガラス瓶		専用コンテナ ポリ袋	ビン容器、試験管。 ビン容器類 コーヒープル ※ ドリンク瓶は、工場内持込厳禁。	窓ガラス(含む網入り)、中間膜入り、ミラーなどを含むは退入禁止 薬品類は危険なもので、内部を必ず洗浄する事 蓋を必ず外して排出
9 その他ガラス屑		専用鉄箱 そのまま廃棄	窓ガラス、ガラス製デスクマット、ガラスケース、瓶以外のガラス製品 窓ガラス(含むサッシ付き) 化粧鏡(ミラー)	網入り、中間膜入り
10 鉄屑		専用机 2m以下	* カット屑扱は、ガラス部専用 金属物もしくは金属主体のもの。 アルミ類・ステンレス類 スプレー缶 電線屑・延長コード ペンキ缶・シンナー缶 カッター刃 スチール棚 自転車 イス、 銅線	必ず、穴をあけること! 結束する。 ペンキ等中身を空にし、キャップもしくはガムテープで養生する。 蓋付きの容器に入れ、内容物・排出誤を明記する。 折り畳みパイプのみ。オフサイズは塩ビ・大型廃プラ。 バラバラにならないように結束する。 大量に発生する場合は、業務Gに要連絡。 * 油が付いているものはワックス等で拭き取る。

分類	品名	注	意
11 ケーブル	排出荷姿 専用コンテナ そのまま廃棄 専用コンテナ	被覆してあるケーブル 鉄線も可 鉄線	バラバラにならないように結束する。
12 鉄さび	専用コンテナ	腐ブテ、可燐物、汚泥の混入厳禁 雑袋もしくは土裏袋に入れる。	
13 蛍光灯	専用ドラム そのまま廃棄 専用コンテナ	蛍光灯 電球 水銀灯	※ 蛍光灯は右をクリップ。 ※ 漏れたら資材倉庫に連絡願います
14 乾電池	専用ドラム (鉄骨有)	乾電池、その他電池	
15 コンクリート屑(鉄骨有)	専用コンテナ	鉄骨付コンクリート	ポリ袋に入れる。
16 コンクリート屑(鉄骨無)、アスファルト	専用コンテナ	コンクリート アスファルト ブロック	
17 石膏ボード	専用コンテナ	石膏ボード	
18 外壁・珪石	専用コンテナ	ALC板 セメントボード 珪石 ダイヤ珪石	
19 陶磁器屑	専用コンテナ	食器、マグカップ、タイル、陶磁器製品	
20 サンダーの刃	専用ドラム	サンダーの替え刃	ポリ袋に入れてまとめるか、そのまゝ廃棄
21 バッテリー	専用BOX	バッテリー	専用BOXに入れる
22 家電4品目	専用箱	リサイクル家電(冷蔵庫、エアコン、洗濯機、テレビの4品目)	
23 電気機器	専用コンテナ	モーター等PC製品 電気計器、電子機器	※ 廃棄の際は、資材倉庫に事前連絡し、立ち会いをつけること 家電4品目以外の電気製品
24 紙	そのまゝ廃棄	※ 8種類に分類 ①雑誌、ゴキ用紙 ②新聞紙 ③ダンボール ④コピー用紙 ⑤封筒 ⑥シュレッダー屑 ⑦紙管 ⑧その他、特定紙 ※ 雨濡れ及び飛散しないように配慮すること	雑誌、カラーコピー、ノート、カタログ等 折り畳みか組で結束する事 組で十文字に結束するダンボール箱に入れること ラミネート、ろうづけ、筒状・光沢のあるものは不可 ストックフォームなど 透明ビニールに入れて回収 OHP(刷)の混入厳禁!! 煙突下部塔へ持ち込み 椅子下の山紙、ATP紙など
25 (リサイクル不可のもの)	指定ポリ袋 (45リットル以下)	可燃物として処理	重要・機密文書、感熱紙、カーボン紙、ノンカーボン紙、紙パック、プラスチック付き封筒、ラミネート付き封筒等 原則は共通産廃処理場に直接持ち込み。
26 木屑	専用木箱	廃木材・ベニヤ・木屑	※ 磁石に付かないもの(ステン釘等)を使っている木屑は別処理のため、業務Gへ連絡 ※ また、金具(金属の治具)が付いている木屑も別処理のため、業務Gへ連絡 ※ 腐木、炭木、生木、竹ぼうきは袋に入れて可燃物へ廃棄
27 廃油	共通置き場なし ドラム 一斗缶 ドラム	潤滑油・廃油等 灯油等 廃塗料 廃ワニス	ドラムに入れ、資材倉庫(内線：5253)に取り取り依頼。 プラントから出た廃油は個別に業務Gに相談。

アスベスト含有品は厳禁
(不含証明ができないものは、含有とする)

*アスベスト含有品は、資材倉庫に連絡をして下さい

※磁石に付かないもの(スズン釘等)を使ってる木屑は別処理のため、業務Gへ連絡
※また、金具(金属の治具)が付いている木屑も別処理のため、業務Gへ連絡
※腐木、炭木、生木、竹ぼうしは袋に入れて可燃物へ廃棄

【注意】2 m以上のものは、切頭でなく片手さること。

27	廃油 共通置き場なし 潤滑油・廃油等 灯油等 ドラム ドラムに入れ、資材倉庫（内線：5 2 5 3）に3取り依頼。 プラントから出た廃油は個別に業務Gに相談。
----	---

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

別紙④

【2022年度実績】

単位：t

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート 陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	特管廃油	汚泥	水銀使用製品	金属屑
全処理委託量	6,071	26	31	0.5	959	0.09	0.08
優良認定処理業者への処理委託量	2,402	7	31	0	93	0.09	0.08
再生利用業者への処理委託量	6,071	26	31	0.5	959	0.09	0.08
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	1	0	0	0	0
① 現 状 (これまでに実施した取組)							

委託量の多いガラス・コンクリートおよび陶磁器くずならびに汚泥に関しては、1社に委託量が偏っていましたが2020年度よりBCPとして、処分委託先を3社追加し、委託先確保、リスク回避を実施致しました。
更に2022年度リスク回避として1社新規委託先確保（優良認定）しました

単位：t

産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリート くず及び陶磁器くず	廃プラスチック	廃油	特管廃油	汚泥	水銀使用製品	金属屑
全処理委託量	6,010	26	30	1.0	950	0.1	0.1
優良認定処理業者への処理委託量	2,378	7	30	1.0	90	0.1	0.1
再生利用業者への処理委託量	6,010	26	30	1.0	950	0.1	0.1
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外への 熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	1	0	0	0	0
② 計 画 (今後実施する予定の取組)							

新規処分委託先検討は、優良認定許可取得業者へ委託するよう推奨する。